

平成24年度事業実施概要ならびに財務・収支の概要

I 事業実施概要

(1) 事業実施概要

平成23年5月に東京電力福島第1・第2原子力発電所の事故による本県農業への影響が確認されたことを受け、同年7月19日にJAグループの対策協議会を設立した。

以後、同年9月の1次請求から始まり、平成25年3月までの間、18回にわたり、13品目、192億8,736万円の請求をした。これに対し、平成25年3月末日現在で、144億6,714万円（本賠償の合意により債権として確定しているが、基準日現在で未入金のものを含む。）の賠償金を受入れ、原請求者に分配した。

また、損害の実態を把握し、国及び県の施策に即した請求フレームの検討を行った。特に、平成25年1月30日に発表された中間指針の第3次追補では、本県の農産物の全てにおいて風評被害が確認され、賠償の対象とされ、現在、この賠償フレームの策定に取り組んでいる。

(2) 主な事業実施事項

月 日	会 議 等	主 な 内 容
4月20日	第8回総会	1. 平成23年度の事業実施状況・財務状況 2. 平成24年4月期（第7次）請求額の決定
4月27日	4月期（第9次）請求	東京電力に対し、3月までの損害分として6億7,288万円を請求
5月14日	監事監査	7月19日の設立から23年度末までの期間の事業実施及び財務の状況について監事監査を実施
5月22日	第9回総会	平成24年5月期（第8次）請求額の決定
5月31日	5月（第10次）請求	東京電力に対し、4月までの損害分として6億109万円を請求
6月4日	民主党岩手県連に対する要請	原発事故にかかる放射能汚染に関する要請を実施し、汚染稲わら・牧草・堆肥の早期処分と原木露地しいたけの出荷自粛の早期解除スキームの決定、汚染ホダ木の処分、原木確保対策を要請した。

月 日	会 議 等	主 な 内 容
6月13日	岩手県畜産議員クラブ役員との畜産被害に係る意見交換会	原発事故の影響に伴う本県畜産の現状と課題等について県議会議員と意見交換を行い、6月開催の定例議会への反映を図り早急な対策に資することを目的に開催した。
6月27日	第10回総会	① 平成23年度の事業実施並びに収支決算の承認 ② 平成24年6月期（第9次）の損害賠償請求の決定 上記のほか、東京電力から仮払金での支払の打診があることを報告し、これを受け入れることを決定した。
6月29日	6月期（第9次）請求	東京電力に対し、5月までの損害分として7億9,593万円を請求
7月20日	第11回総会	平成24年7月期（第10次）の損害賠償請求を決定
7月31日	第10次請求	東京電力に対し、6月までの損害分として11億9,112万円を請求
8月23日	第12回総会	平成24年8月期（第11次）の損害賠償請求を決定したほか、代替粗飼料供給にかかる対応について決定した。
8月31日	第11次請求	東京電力に対し、7月までの損害分として、11億3,923万円を請求
9月24日	第13回総会	平成24年9月期（第12次）の損害賠償請求を決定したほか、代替粗飼料供給にかかる対応について決定した。
9月25日	東京電力への申し入れ	東京電力に対し、次の3点を申し入れた。 ① 紛争審査会の「指針」で賠償すべき損害と明示された損害について既請求分の即時本払いを実行するとともに、原発事故による全ての損害について賠償すること。 ② 「指針」に明確に記載されていない県域の損害や、請求にかかる事務経費、除染にかかる費用など今後発生する損害等についても賠償請求に基づき迅速に賠償すること。 ③ 損害賠償の請求手続きについて、すみやかな支払いの実施に向けて煩雑な請求事務手続きを簡素化すること。
9月28日	第12次請求	東京電力に対し、8月までの損害分として、11億7,626万円を請求

月 日	会 議 等	主 な 内 容
10月4日	復興大臣県選 出国会議員への 要請並びに東京 電力に対する申 し入れ	<p>福島県、宮城県、及び栃木県の各県 JA グループとともに、県内全 JA の組合長が下記の事項について東京電力に対して申し入れた。</p> <p>① 紛争審査会の「指針」で賠償すべき損害と明示された損害について既請求分の即時本払いを実行するとともに、原発事故による全ての損害について賠償すること。</p> <p>② 「指針」に明確に記載されていない区域の損害や、請求にかかる事務経費、除染にかかる費用など今後発生する損害等についても賠償請求に基づき迅速に賠償すること。</p> <p>③ 損害賠償の請求手続きについて、すみやかな支払いの実施に向けて煩雑な請求事務手続きを簡素化すること。</p>
10月9日	上半期の監事監 査の受検	<p>現地指摘事項として、次の内容の指摘された。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原発事故による損害賠償請求について</p> <p>原発事故による東京電力への損害賠償請求の支払進捗状況をみると、第12次までの請求総額11,153百万円に対して総支払額は6,905百万円であり、支払率が61.9%にとどまっている。</p> <p>原発により被害を被った農家が再び安全・安心な農畜産物を生産できるよう、生産者の視点に立ち一日も早い支払いを東京電力に要請されたい。</p> </div>
10月19日	第14回総会	<p>① 10月4日の東京電力への申し入れに対し、出席のう え、文書による回答があった。</p> <p>② 東京電力から、肉用牛の損害の算定方法について、原価積上げ方式から価格下落率方式への変更の要請があ った。</p> <p>③ 平成24年10月期（第13次）の損害賠償請求につ いて決定した。</p> <p>上記のほか、「東京電力が現場の事情を認識するため、 JA を巡回せよ。」の意見があり、年末までに全 JA を巡 回した。</p>
10月31日	第13次請求	<p>東京電力に対し、9月までの損害分として、 17億4,759を請求した。</p>

月 日	会 議 等	主 な 内 容
1 1 月 1 4 日	第 1 5 回 総 会	① 平成 2 4 年 1 1 月 期 (第 1 4 次) の 損 害 賠 償 請 求 に つ い て 決 定 し た。 ② 肉 用 牛 の 損 害 の 算 定 方 法 に つ い て、原 価 積 上 げ 方 式 か ら 価 格 下 落 率 方 式 へ の 変 更 を 決 定 し た。
1 1 月 3 1 日	第 1 4 次 請 求	東 京 電 力 に 対 し、1 0 月 ま で の 損 害 分 と し て、1 7 億 6 2 5 万 円 を 請 求 し た。
1 2 月 1 8 日	第 1 6 回 総 会	平 成 2 4 年 1 2 月 期 (第 1 5 次) の 損 害 賠 償 請 求 に つ い て 決 定 し た。
1 2 月 2 1 日	第 1 5 次 請 求	東 京 電 力 に 対 し、1 1 月 ま で の 損 害 分 と し て、1 1 億 5, 1 0 5 万 円 を 請 求 し た。
平 成 2 5 年 1 月 1 6 日	第 1 7 回 総 会	平 成 2 5 年 1 月 期 (第 1 6 次) の 損 害 賠 償 請 求 に つ い て 決 定 し た。
1 月 3 0 日		原 子 力 損 害 賠 償 紛 争 審 査 会 は、「東 京 電 力 株 式 会 社 福 島 第 一、第 二 原 子 力 発 電 所 事 故 に よ る 原 子 力 損 害 の 範 囲 の 判 定 等 に 関 す る 中 間 指 針 第 三 次 追 補 (農 林 漁 業・食 品 産 業 の 風 評 被 害 に 係 る 損 害 に つ い て)」を 公 表 し、本 県 の 農 産 物 の 全 て に 風 評 被 害 が り、賠 償 の 対 象 と な る こ と を 認 定 し た。
1 月 3 1 日	第 1 6 次 請 求	東 京 電 力 に 対 し、平 成 2 4 年 1 2 月 ま で の 損 害 分 と し て、8 億 8, 3 8 1 万 円 を 請 求 し た。
2 月 2 0 日	第 1 8 回 総 会	① 肉 用 牛 の 価 格 下 落 率 方 式 で 採 用 す る 下 落 率 は、東 京 食 肉 市 場 の 価 格 を 基 礎 に 算 定 さ れ た も の と し た。 ② 平 成 2 5 年 1 月 期 (第 1 7 次) の 損 害 賠 償 請 求 に つ い て 決 定 し た。
2 月 2 8 日	第 1 7 次 請 求	東 京 電 力 に 対 し、平 成 2 5 年 1 月 ま で の 損 害 分 と し て、1 2 億 9, 3 7 0 万 円 を 請 求 し た。
3 月 1 3 日	第 1 9 回 総 会	委 任 農 業 者 の 申 し 出 に よ る 協 議 会 正 副 会 長 と の 委 任 契 約 の 解 除 手 続 き に つ い て 決 定 し た。
3 月 2 8 日	第 2 0 回 総 会	平 成 2 5 年 3 月 期 (第 1 8 次) の 損 害 賠 償 請 求 に つ い て 決 定 し た。
3 月 2 9 日	第 1 8 次 請 求	東 京 電 力 に 対 し、平 成 2 5 年 2 月 ま で の 損 害 分 と し て、1 2 億 3 6 5 万 円 を 請 求 し た。

II. 財務・収支の概要

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債及び純資産の部		
(資産の部)			(負債の部)	
預金	1,433,371,979	和解金等		1,109,349,395
			17次請求の仮払金 及び肉用牛の本精算ほか 支払留保	1,099,803,567
				9,545,828
その他未収金	2,750,187	留保金	規約に基づく留保金	307,092,494
過払いに伴う立替分	2,750,083	その他仮受金		38,621,442
廃用牛の仮払金の端数調整	104		(支払不能分:12名)	1,456,136
			(仮払金返金分:2名)	451,869
			(受取会費分:員外者)	36,713,437
		負債合計		1,455,063,331
		(純資産の部)		
		収支差額		△ 18,941,165
			うち前期までの差額	△ 2,892,372
			うち当期の差額	△ 16,048,793
		純資産の合計		△ 18,941,165
資産の合計	1,436,122,166	負債及び純資産の合計		1,436,122,166

収支計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

支出		収入	
項目	金額	項目	金額
支払会費	681,444	受取会費	0
旅費	1,805,760	受取利息	67,487
その他支出	13,629,076	その他収入	0
合計	16,116,280	合計	67,487
		収支の差額	△ 16,048,793

その他支出の主な内容

1) 賠償金の振込手数料	6,079,795
2) 賠償金の通知にかかる通信費	1,129,880
3) 人件費(嘱託・臨時職員分)	5,450,366
4) 印刷・消耗品	316,110
5) 東電への要請・会議の会場費等	327,820